

創立151年



さくらっ子

三春町立中郷小学校

学校だより 第3号HP用

発行日 令和6年5月13日

発行者 校長 宇都宮 弘

滝ザクラを守る会 P R 活動の成果!

神奈川県の方に続いて、福島市の方よりお手紙をいただきました。その中に、素敵な写真も入っており、大変感激しました。いただいた写真をスキャンさせていただき、ポスターにして校内に掲示しました。お手紙をくださった皆様に、心より感謝申し上げます。中郷っ子のこれからの活動に向けて、大変励みになります。ありがとうございました。

改めて、この伝統ある活動のすばらしさを実感しました。来年度のPR活動に向けて、しっかりと準備を進めていきたいと思ひます。



4月13日

3年 HP非公開 さん



4月19日

5年 HP非公開 さん

お昼の放送で紹介して、みんなでお祝いをしました。その時、教室を訪問して撮影した写真です。おめでとうございます!

福島市の方からお手紙 (すてきな写真) をいただきました!



滝桜での活動 ご苦労様でした
写真撮影したもの フォントしたので
写す方にお渡ししていただければ嬉しいです

滝ザクラを守る会
PR活動大成功!



みなさんの思いがしっかりと伝わりましたね

環境創造センター見学実施!

1日(水)中妻小と合同で、環境創造センターの見学を行いました。日常生活の中では、見る事ができない放射線を、霧箱で確認することができ、子どもたちはとても驚いていました。

また、見学した5年生からは、「東日本大震災について、また、復興に向けてたくさんの人々が努力してきたことについてよくわかった。」「放射線について詳しく知ることができてよかった。」などの感想が出されており、大変有意義な時間を過ごすことができました。

環境創造センターの皆様、一緒に見学した中妻小のみなさん、お世話になりました。ありがとうございました。



生活集会での話です！ 中郷っ子パワーアップ大作戦！

今年度最初の生活集会で、「中郷っ子パワーアップ大作戦」と題して話をしました。授業参観時に玄関ホールに掲示しましたので、お気づきの方もおられたと思いますが、5つの作戦を伝授しました。その後、子どもたちの中で、変化が少しずつみられて、とてもうれしく感じております。成長が見られた子どもたちの様子は、お昼の放送の「キラキラっ子タイム」で紹介しています。よいところはみんなで認め、称賛して、中郷っ子がパワーアップできるようにしています。

春沢登校班
毎朝、大きなさわやかなあいさつを自分からできている。キラキラっ子タイムで最初に紹介しました！



今年もめざすは『輝く子ども』

今年もめざすは『輝く子ども』

作戦1「レジェンドに続け！」

作戦2「やればできる！」

今までやってきたことを大切に！
しかし、自分たちでかんがえ、新しいすてきな伝統をつくっていきましょう！

「できるかできないか」「やるかやらないか」
なやんだら、まずはやってみよう！
やってみなかつたら、
できるようになるわけがない！



今年も生活集会、お昼の放送などを使って、子どもたちに、様々な発信を続けて参ります。

今年もめざすは『輝く子ども』

今年もめざすは『輝く子ども』

作戦3

作戦4「元気は出すのだ！」

今年もめざすは『輝く子ども』

「あいさつの天才になろう！」
あいさつには、その人の人生をかえるふしぎな力があります！
すてきなあいさつをして、あいさつをした人をさわやかな気持ちにしちやおう！

「元気ですか！元気があれば何でもできる！」
元気とは、しぜんと出るものではなく、
自分からどんどん出していくもの！

作戦5

「食べるとは人をよくすること！」
1日三食！あさ、ひる、ばんごはん！
そして、野菜(やさい)！
食べるか、食べないかで、運命はかわるぞ！
人のからだは、そうできているのだ！

食

校長室から

お忙しい中、申し訳ございません。少しだけお時間をください。



令和6年度の学校経営ビジョンについて①

※赤字が今年度の変更点となります。

教育目標 心豊かで自立的精神に満ち、限りない創造を求める「輝く子ども」の育成

目指す児童像 「輝くこころ、輝くひとみ、輝くからだ」をもつ子ども

重点・努力事項 (輝くこころ) 徳：自分や相手のよさを認め合う子どもの育成
(輝くひとみ) 知：自ら考えて学びに向かう子どもの育成
(輝くからだ) 体：運動に親しみ健康で元気な子どもの育成

「教育目標、目指す児童像、重点・努力事項」は、昨年度、生活集会等の話の中で、1年をかけて子どもたちの中での理解を深めてきました。そのため、継続性を重視し、小幅な変更にとどめました。



「輝くこころ」を育てます

学力、体力もバランスよく伸ばしていきますが、まずは、すべてのベースとなる「こころ」を育てることに、今年度も力を入れていきます。



令和6年度版

1 心の教育を充実させます

- ・ 「よさや強み」を大切に温かさやけじめのある指導
- ・ 自己肯定感、自己有用感の育成
- ・ いじめや不登校が起きない学級集団づくり
- ・ 学級活動、道徳科での話合いの過程の重視
- ・ 読書の楽しさを味わわせる活動の充実

2 豊かな体験活動を充実させます

- ・ 滝ザクラと地域、特色ある校地等を生かした学習活動の推進
- ・ 児童のアイデアを生かした社会性を育む縦割り活動
- ・ 自然や芸術に触れる機会の充実
- ・ SDGs 17の目標やキャリア教育を意識した体験学習の整備

3 自主的活動を充実させます

- ・ 児童会、学校行事、ボランティア活動等での児童の意識改革

4 基本的生活習慣を身に付けさせます

- ・ 「気持ちよいあいさつ」の推進
- ・ ルールの意味を考え、自ら守ろうとする主体的な態度の育成
- ・ 家庭と連携した指導の充実

昨年度、子ども達に「よさ」を見つけることの大切さについて話を続けてきました。それが、一人ひとりの「強み」となり、自己肯定感、自己有用感を高めることにつながります。自己肯定感、短時間で急激に高まりません。様々な取り組みを通して、時間をかけて少しずつ、子どもたちに自信をもたせ、高めていきます。

自己肯定感が高い児童は、
・ 自分の気持ちや考えをすなおに話せる
・ 考え方が前向き
・ 自分に自信がある
・ 自分のことが好き
・ ものごとに意欲的に取り組める
・ まわりの人を認めることができる
・ 友達やまわりの大人とうまくコミュニケーションがとれる
・ 失敗してもあきらめないなどの特徴があります。

このページの上段でも触れましたが、「あいさつの天才になろう！」という作戦を実行中です。生活集会の中で、この言葉を知っている人と質問をしたところ、何人かの児童が手を挙げました。本で読んだり、何かで見たりしたことがあるとのことでした。気持ちよいあいさつを、どんどん広げていきたいと思っております。

特に、『家族でチャレンジカード』の「メディアコントロール」について、なぜコントロールする力が必要なのかについての理解を深めていきます。そして、「自ら守らなければ」という主体的な態度を育てます。学校としても、様々な情報を精査して、保護者の皆様にもお伝えして参ります。ご協力をよろしくお願いいたします。

深化・発展

令和5年度版

- 1 豊かな体験活動を充実させます
 - ・ 滝ザクラと地域を生かした学習活動
 - ・ 社会性を育む縦割り活動
 - ・ 自然や芸術に触れる機会の充実
 - ・ SDGs 17の目標やキャリア教育を意識した体験学習の整備
- 2 基本的生活習慣を身に付けさせます
 - ・ あいさつ運動の推進
 - ・ ルール守ろうとする主体的な態度の育成
 - ・ 家庭と連携した指導の充実
- 3 心の教育を充実させます
 - ・ 温かさやけじめのある指導
 - ・ 自己肯定感の育成
 - ・ いじめや不登校の起きない学級集団づくり
 - ・ 学級会・道徳科での話合いと読書活動の充実
- 4 自主的活動を充実させます
 - ・ 児童会・学校行事・ボランティア活動等の充実

昨年度から取り組み始めていましたが、6年生を中心とした子どもたちのアイデアを、縦割り班活動等に生かしていきま。その中で、まずは最高学年である6年生の社会性を育て、その姿を見ている5年生以下の子どもたちへよい影響を与えられるようにしていきます。異年齢の交流を活性化させ、「小規模校だからできること」の大きな柱にしていきます。

「やらされている感」「決められているからやっている感」「何となくやっている感」からの脱却をテーマに、児童会活動、学校行事等での活動を見直していきます。これまでの活動を大切にしながらも、子どもたちのこれまでの生活経験を生かして、様々な提案をすることへチャレンジさせていきます。現在は、6年生からの提案書を受けています。どのような提案があるかととても楽しみにしています。出された提案を教職員で協議し、必要に応じてその場に子どもたちも参加できたらと考えています。